

すっかり暖かくなり、満開の桜に心躍る季節！皆さんも春を満喫している事でしょう。5月号の「そしきクンが行く！」は、旭川市内「北地区会」が担当する第2弾だよ。
今月号は、「ものづくり」を行う2社にスポットを当ててみたよ。「畳」と「お菓子」、いずれも私たちの暮らしに欠かせないものだね。
商品づくりに対して、どんなこだわりを持って取り組んでいるのかな？

(有)エチュード洋菓子店

代表取締役
松苗 博行さん

所在地 / 旭川市旭町1条9丁目689-23 電話 / 0166-54-7899
FAX / 0166-55-0989

企業データ

設立 / 1983年10月 資本金 / 1000万円
従業員数 / 13名 入会 / 1985年4月
紹介者 / 第一スパー旭川フードセンター 鈴木 満さん

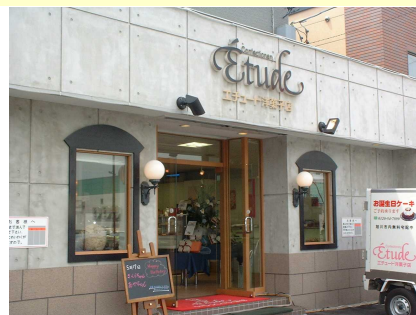
業務内容

菓子製造販売

主力商品・サービス

洋生菓子、旭川スフレ「美雪」、パーム
クーヘン、キャラメルショコラ、完熟チョコ
コレート、アイスキャンデー、アイスク

お客様の笑顔のために、お菓子づくり一筋！



Q1: 趣味はなんですか？

旅行、ドライブ

Q2: 御社の魅力とは？

または御社にお仕事をお願いするとどんないい事がありますか？

お誕生日用デコレーションケーキを市内無料で配達致します。
従業員さんのバースデーケーキなどのご注文をいただければ、会社まで配達させていただきます。また、お中元なども対応できますので、お気軽にお立ち寄り下さいませ。

Q3: 御社のビジネスの転機とは？

独立して、昭和58年に旭川市3条4丁目に初めて店をもったことが第一の転機で、そこで経験した技術、接客、店舗等々に更にみがきをかけ、昭和63年に現在の旭町1条9丁目に移転しました。そのときにお客様に好かれる店舗づくり、新商品の開発等めざしている試行錯誤しましたが、今現在にいたっております。

Q4: 御社のこれからの抱負や目標をお聞かせください

旭川に今までにない店、高級感があるけれども誰でも入りやすく価格もリーズナブルな支店を持ちたい。又息子も大きくなり今店を手伝っているので楽しみな面もあります。これからも美味しいお菓子づくりに励んでいきますのでよろしくお願いいたします。

そしきクン(取材者)よりひと言

お店で目に入ったのは、店内の明るさとお菓子の種類の多さです。聞くと約50種類の商品があり、1つ1つ材料を厳選し日々商品開発に力を入れているようですが、それが一番のご苦労でもあるそうです。お客様の年齢構成は、お子様からご年配まで幅広く、私達(48歳・45歳)も非常においしくいただきました。中学を卒業し、お菓子の職人を目指し、昼は市内のみねやパン(日糧パン)に勤め、夜はお菓子の職業訓練所に通い、旭川を出て東京で3年、ロバ菓子で10年、職人として勤め独立したそうです。2年前に道路拡幅に伴い店内をリニューアルし更に新商品の開発に取り組み、売上也順調に推移しているそうです。まさにお菓子一筋職人という言葉が当てはまる人物、これからも美味しいお菓子をどんどん作って楽しませてください。お忙しい中、色々お話を聞かせていただきありがとうございます。

三谷燃料(株) 常務取締役 三谷 茂樹

(株)舎 佐藤畳内装店

専務取締役
佐藤 英行さん

所在地 / 旭川市川端町1条5丁目 電話 / 0166-51-0564
FAX / 0166-53-3886

企業データ

設立 / 1919年 資本金 / 1000万円
従業員数 / 5名 入会 / 1999年10月
紹介者 / (株)菅原組 副社長 菅原 吉孝さん

業務内容

畳製造、クロス施工、襖、障子貼、各種床施工、
カーテン、ブラインド・内装仕上げ施工

主力商品・サービス

畳、クロス、襖、障子、CFシート、カーペット、
タイル、カーテン、ブラインドetc、内装仕上げ全
般

大正8年創業。自然素材の畳の良さを伝えたい！



Q1: 趣味はなんですか？

スポーツ観戦と、実際にいろいろなスポーツにチャレンジし、汗を流しその後飲む酒

Q2: 御社の魅力とは？

または御社にお仕事をお願いするとどんないい事がありますか？

特別にいいことがあるなんておもいませんが、表装、壁装、畳等などそれぞれに一級技能士がいます。また私は平成11年度北海道技能競技大会で優勝し、北海道代表として全国大会へ出場しました。その中で、当社は技術については絶対の自信を持っており責任施工に徹しています。

Q3: 御社のビジネスの転機とは？

昭和49年のオイルショックの時以来、畳の需要が減ってきましたが他の内装店で8年程修行して内装の技術をみがき、それ以来畳から内装全般にわたり責任施工できるようになりました。現在は、畳より内装の仕事の割合が大半を占めています。

Q4: 御社のこれからの抱負や目標をお聞かせください

再度、自然素材の畳の良さを皆様方に再認識していただきPRに努めていきたいと思えます。又、現在息子が大学に通ってしまて将来4代目として技術をみがき共に仕事ができればと思っています。

そしきクン(取材者)よりひと言

たたみ製造から内装仕上げまで行いすべてに於いて一級技能士の免状をもった職人がいる。自信に満ち溢れた三代目(専務)と感じました。ご本人も室内装すべてに(5種類)おいて一級の免状を取得され、施工、技術につきましては厳しい目を持ちお客様の信頼を得ている。又それが、大正8年創業から続く秘訣であると感じました。今現在はたたみの需要が少なくなり、良さをもっと皆さんに知って欲しいと言っておられました。店内は畳の懐かしいいい香りがしました。畳には室内の湿度を一定に保ち空気をきれいにし、夏は涼しく冬は暖かくする効果があるそうです。父親である社長も現場を回っておられるようで、「まだまだ頑張ってください」という言葉が印象的でした。

(株)菅原組 取締役副社長 菅原 吉孝